

# 教職員 アンケート調査結果(全体版)

## 1 アンケート概要

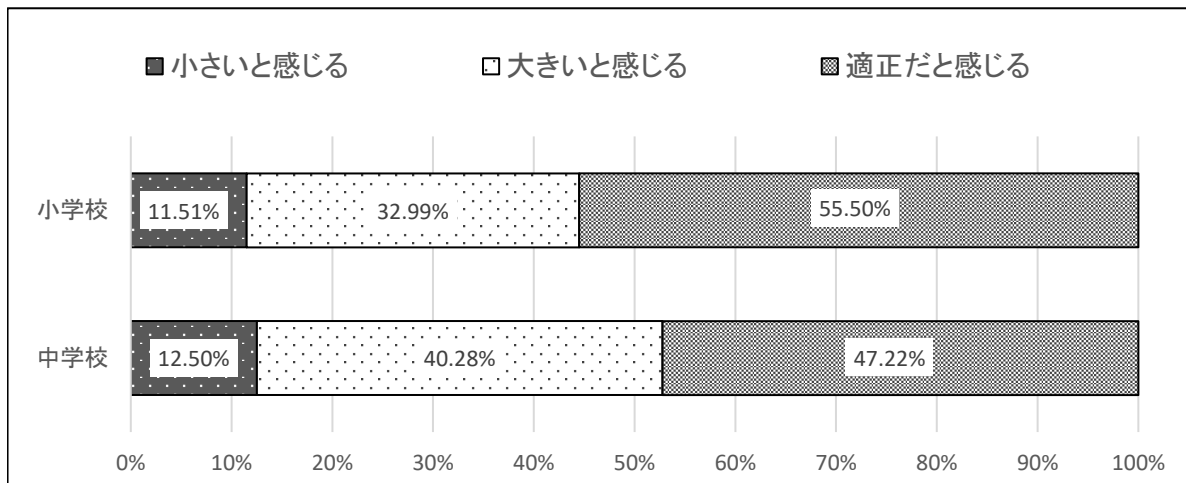
実施者 : 藤沢市教育委員会 教育総務課  
 実施期間 : 2022年(令和4年)9月1日から9月16日まで  
 対象者 : 藤沢市立小中学校の教職員  
 回答方法 : Googleアンケートフォームまたは紙面  
 対象者数 : 1,964人 回答者数 : 607人 回答率 : 30.9%

## 2 アンケート結果

問 現在所属の学校の学級数の規模はどのように感じますか？

【回答者内訳】

小学校 391人 中学校 216人



問 上記問の選択理由(自由記述)

分類	件数	上記問の理由(小学校) 自由記述 (抜粋)
小さいと感じる	20	人数が多すぎず、一人一人に丁寧に関わることができるが、職員の数少なすぎる。
大きいと感じる	99	校庭や特別教室の割り当てが必要十分な時間数配当できていない状況で、学習に支障がおきている。
適正だと感じる	30	人数把握がしやすい。学習活動が活発に行われる。

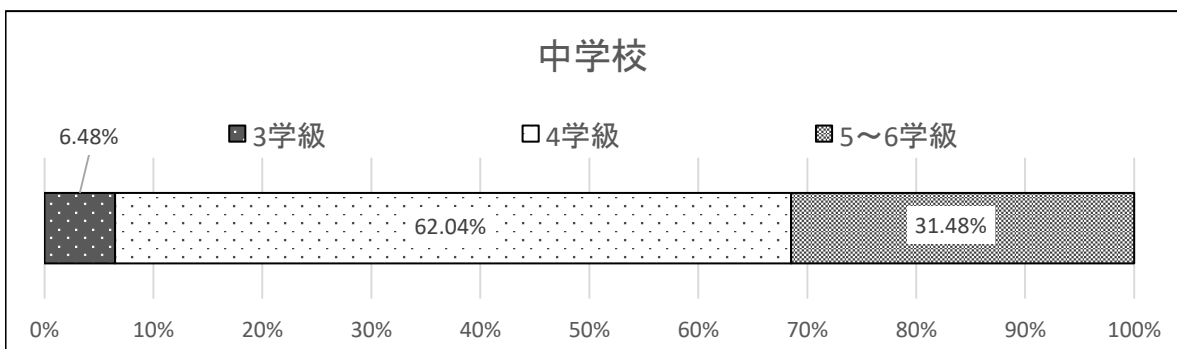
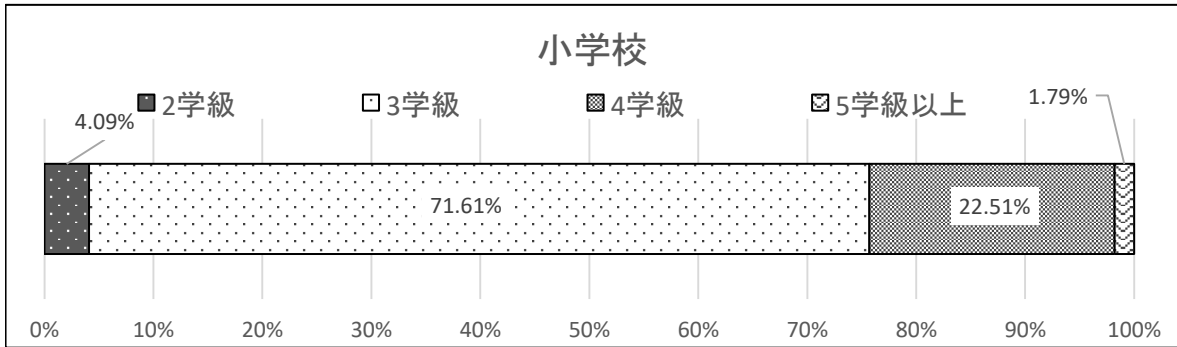
分類	件数	上記問の理由(中学校) 自由記述 (抜粋)
小さいと感じる	10	生徒の人数が少なく、学校行事がこじんまりとして終わってしまう。
大きいと感じる	62	人数が多く全ての生徒へ適切な対応ができない。同じ学年に所属しているのに3年間全くかわらない生徒もいる。
適正だと感じる	18	学年すべてのクラスの授業を受け持つことができる。教科にもよるが、学年の授業をすべて受け持てるので、学年の生徒の様子を把握しやすい。授業において、特別教室が利用しやすい。

問 小学校/中学校(各属性に応じて)は1学年あたり何学級だとちょうど良いと思いますか？

【回答者内訳】

小学校 391人

中学校 216人

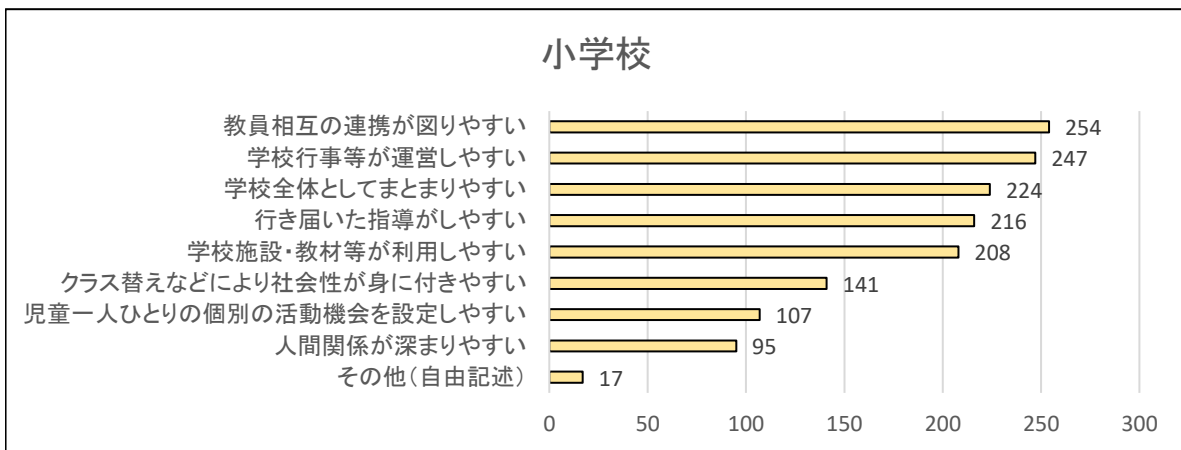


問 上記問の選択理由(自由記述)

【回答者内訳】

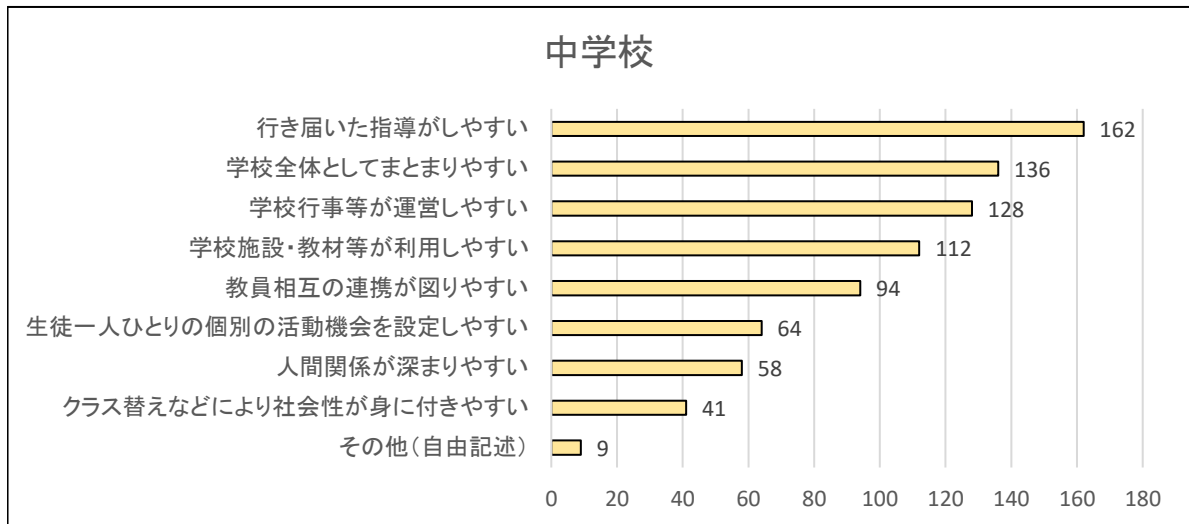
小学校 391人

中学校 216人



その他(自由記述)(抜粋)

子供たちへの制限が多いので、それが解消される。
刺激が少なく、児童の落ち着いた学習環境の整備につながる
校外学習のときには、100人を超えると見学ができない施設も多い。また、100人くらいの人数が動きやすい。
児童一人ひとりに寄り添いやすい、児童の安全が確保しやすい。
学級数よりも児童数の方が大切だと思います。学級数がよくても児童数が多ければこれらの理由は当てはまりません
学年や職員全体での合意形成がしやすい。課題の発見から解決までのステップが迅速である。



#### その他(自由記述)(抜粋)

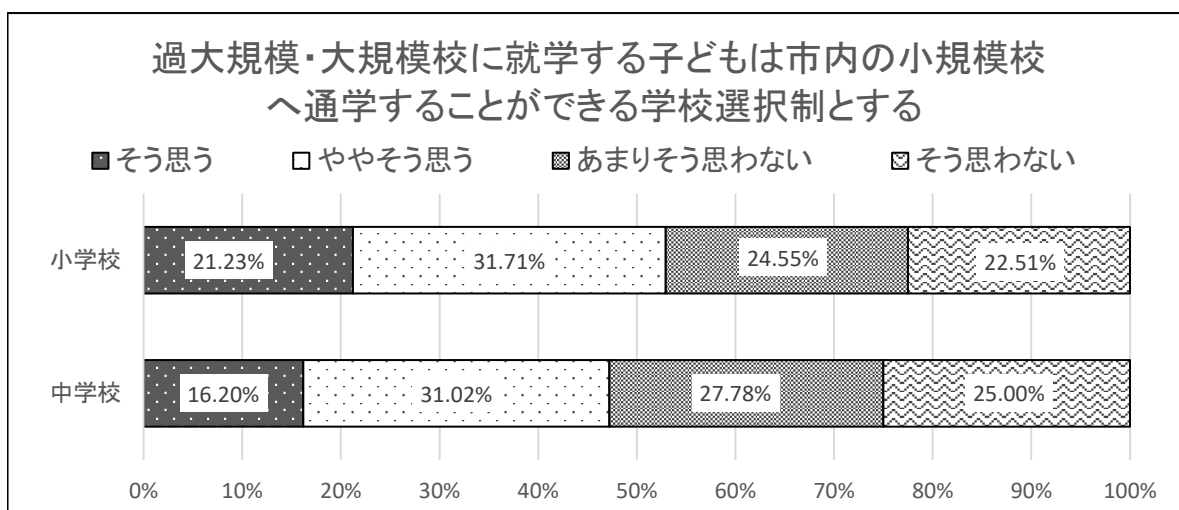
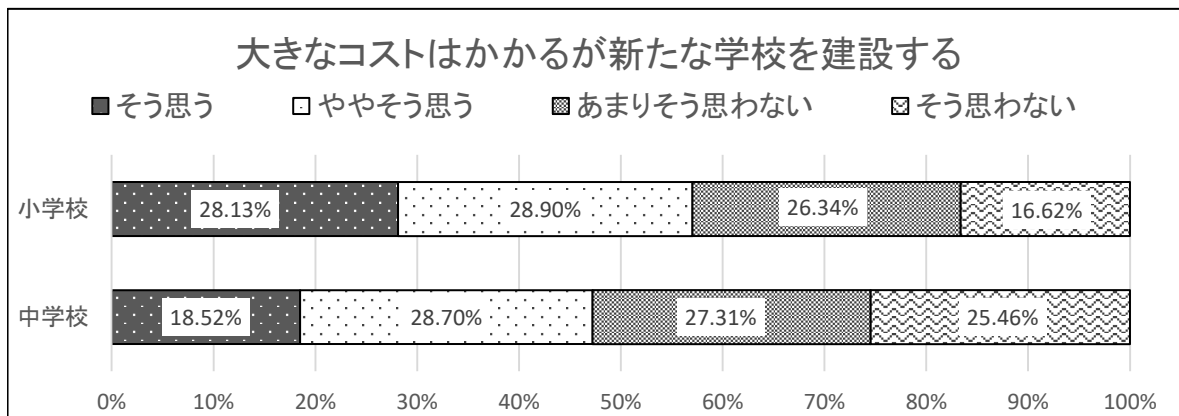
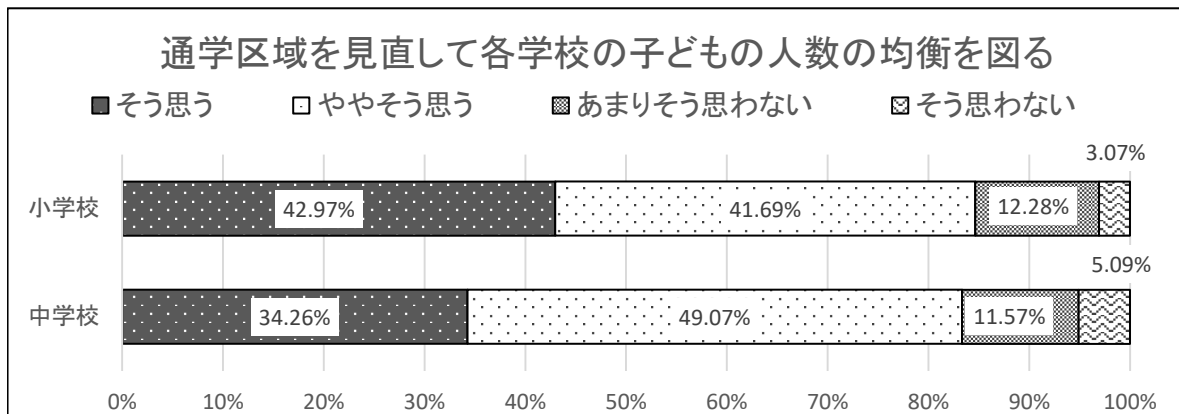
規模に応じて教職員の数が多くなるため、分掌においてそれぞれが担う仕事量が小規模校より少なくなるため
学年を一人の教員で教えることができるため評価等が行いやすい
業務の軽減につながり、働き方改革につながる
教員の持ち時間数が、複数名でシェアしやすい。

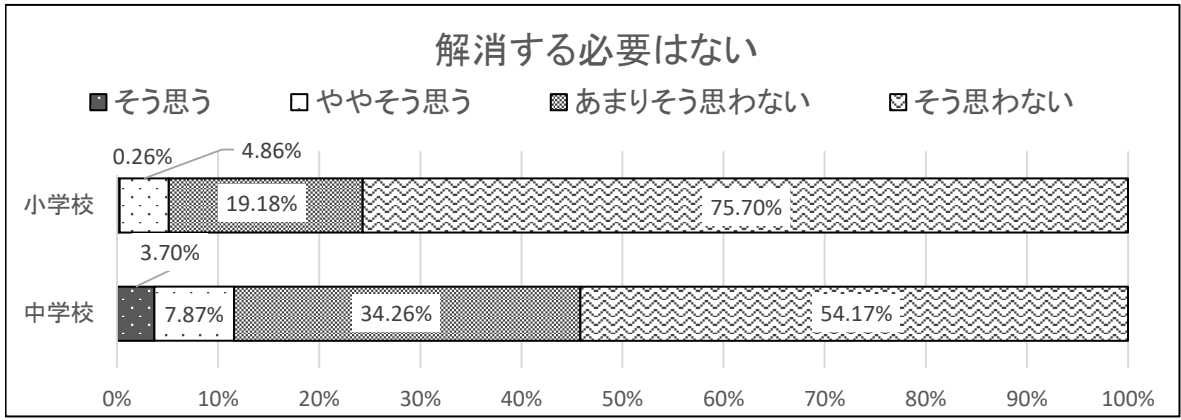
問 過大規模校解消のための手法はどう思いますか？(4段階評価)

【回答者内訳】

小学校 391人

中学校 216人



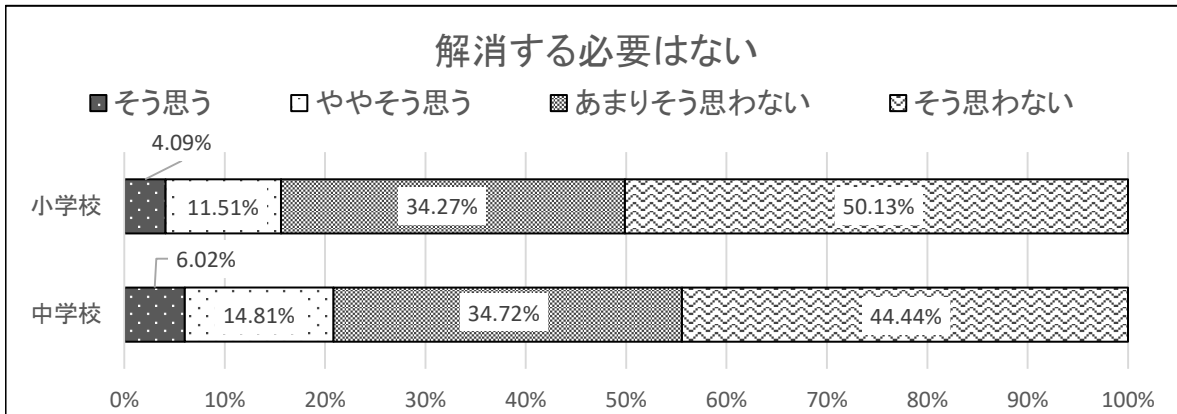
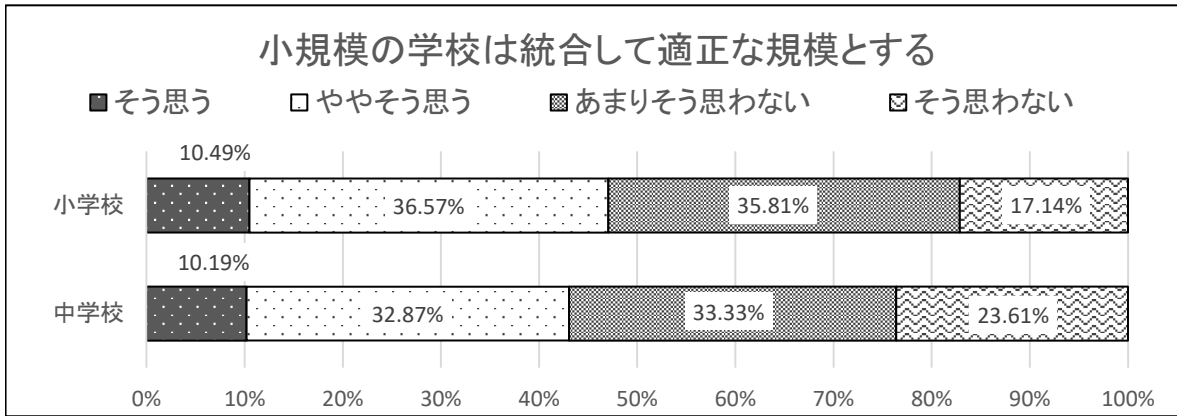
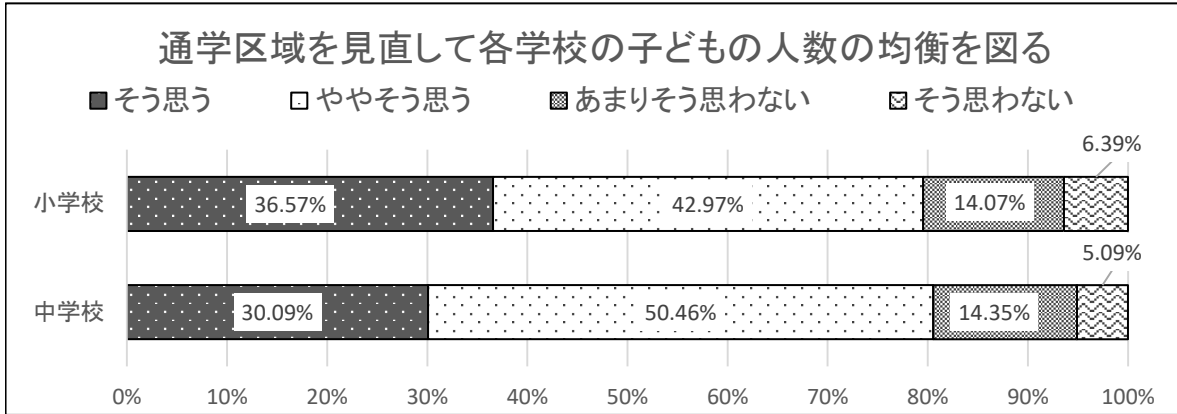


問 小規模校の解消のための手法はどう思いますか？(4段階評価)

【回答者内訳】

小学校 391人

中学校 216人

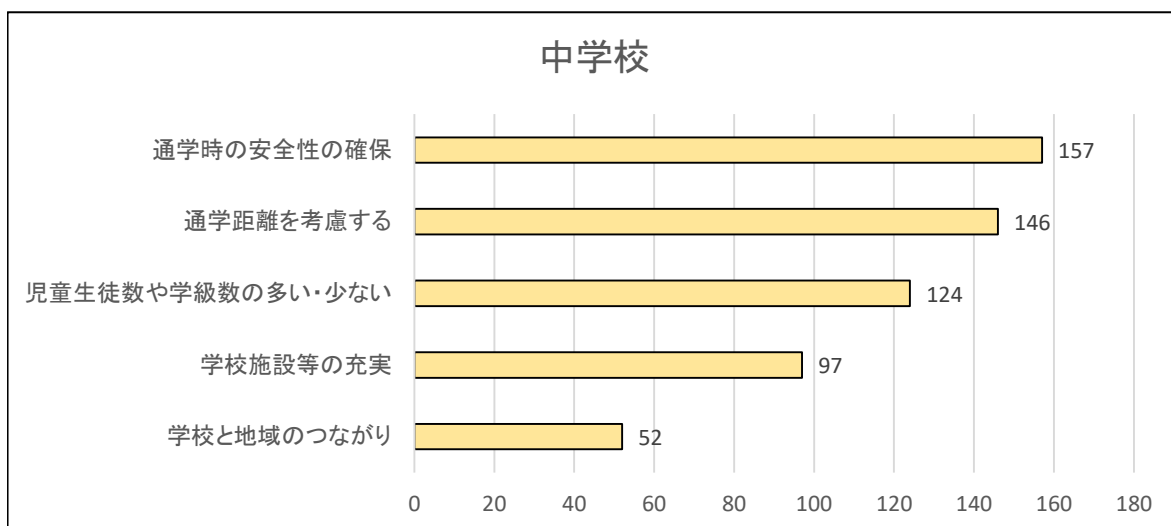
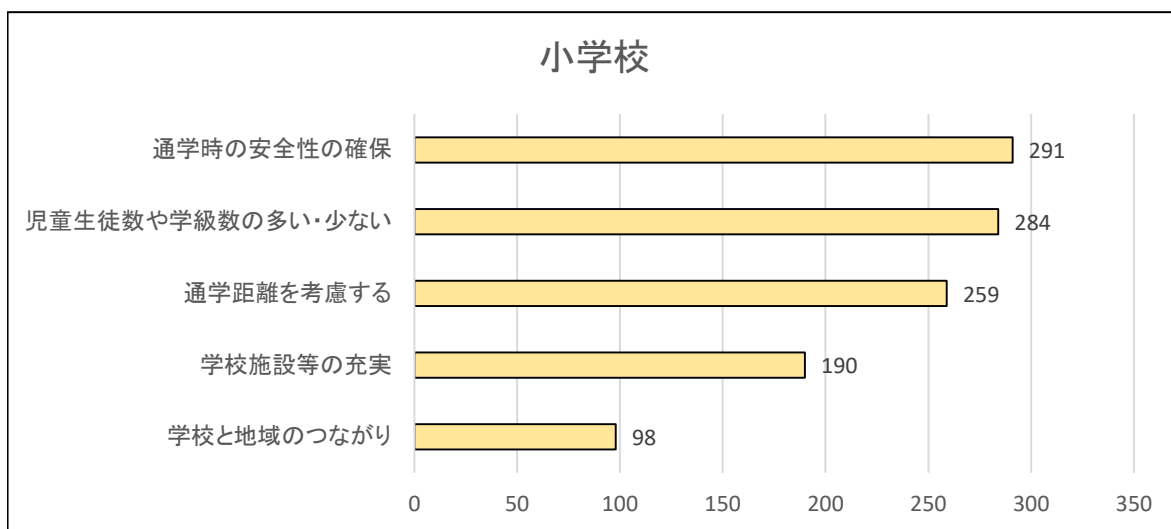


問 適正化への取組で重視すべき点は何だと思いますか？(複数選択)

【回答者内訳】

小学校 391人

中学校 216人



## 問 適正化への意見(自由記述)(抜粋)

分類	件数	意見(抜粋)
学区	36	学区はバランス良く柔軟に変更してもいいのではないかと考えます。 学校選択制には反対。
学校規模	65	同じ市内の学校で、学校規模の差が大きすぎることを危惧している。
通学路	10	猛暑日や悪天候での通学を配慮した上で、児童の安全第一に適正化を図れると良い。 スクールバスの運営等を視野に入れたことも考える必要もあるのかなと考えています。
設備	13	老朽化の学校の改装、修繕の中で教室の数の確保等も検討できるとありがたい。
災害時	2	老朽化も同じくらい切実な問題だと思し災害時に生徒を守れなかったら意味がないと思うので、両方の視点から検討して頂けるとありがたいと思います。
教員に関する事	25	子どもの数(クラス数)とともに、教職員の配置数にも配慮する必要がある。
支援学級	1	特別支援学級のニーズは年々高まっている。各校配置は急務であろう。支援級の規模についても検討することも大切だと思います。
地域	3	学校適正化は今後の大きな課題ではあるが、適正化を図るためには地域の状況も鑑みて行わなければならないと思う。
その他※	26	保護者の理解協力を得るのが最も大きな課題になるため、納得してもらえるような説明や機会が重要と思われる。 期間限定の分校を作るなど、過大規模校への対策は急いで欲しいです。 大きな問題なので、計画ができた段階で、早めの市民への周知が求められる。

※その他に関しては、適正規模・適正配置に向けての手法、学校の現状などの意見がありました。